

経営体の概要

- ・所在地：岡山県赤磐市
- ・経営体名：(株)ファーム安井
- ・栽培作物・作付面積：米31ha、大豆3.4ha、麦8.3ha
- ・従業員数：4名(平成30年7月現在)

導入技術

- ・ほ場管理支援システム「KSAS」((株)クボタ製)
作業内容、作業時間等をほ場ごとに電子地図化して管理するシステム
- ・食味・収量コンバイン((株)クボタ製)
食味(タンパク含有率、水分)・収量測定機能付きコンバイン



食味・収量コンバイン



ほ場管理支援システム

導入経緯

- 経営改善を行う上で作業の効率化や収量・食味の把握が重要である。
- そのため、ほ場管理体制の改善や食味向上を目的に、平成27年度にKSASと食味・収量コンバインを導入した。

取組の特徴・効果

- KSASにより作業の進捗状況を正確に把握でき、的確に次の指示を出すことで作業効率が向上した。
- 食味・収量コンバインによりほ場ごとに食味(タンパク含有率)と収量を把握できた。また、得られたデータと土壌診断結果、県農業研究所が開発した土壌の可給態窒素量を考慮した水稻の施肥設計手法を組み合わせることで、目標値に近づけることができた。
 - ・収量
540～600kg/10a (目標 500kg/10a以上)
 - ・タンパク含有率
6.1～6.8% (目標 6.5%以下)
- 更に、得られたデータを活用することで、籾容量を勘案した効率的な乾燥調製作業や食味の区分販売に繋がった。
- 今後もデータを蓄積して、施肥改善や作業の効率化を進めることで、収量・品質の向上、有利販売、コストの低減が図られることが期待される。